

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	1309	生活排水処理施設維持費	会計	12	浄化槽事業特別会計
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	款	03	維持費
			項	01	生活排水処理施設維持費
			目	01	生活排水処理施設維持費
担当部課名	青山支所産業建設課			細目	101
作成者氏名	山内 敏	連絡先	52-3220	細々目	01
					生活排水処理施設維持費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市が設置した浄化槽の維持管理業務	法定水質基準以下に浄化した排水により、河川の水質改善に資する。
本年度事業内容	①利用料金の徴収業務。 ②浄化槽の修繕業務。 ③水質検査委託業務。	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先: )	根拠法令・要綱等
市内の類似施設	浄化槽法	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	4,075	10,210	14,626
委託料	3,553	7,513	11,327
その他	522	2,697	3,299
合計(A+B)	7,675	13,810	18,226
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	7,675	13,810	18,226
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
1基あたり維持管理経費(7人槽)	円/基	52,880	57,605	57,605			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
1基あたり維持管理経費	普及基数を増やすことにより、経常経費のうち基礎的な経費が分散化し、収支バランスが改善され、将来的に料金値下げにも繋がりが、それにより普及率向上効果にも寄与することが考えられる。しかし、直近年度においては機器の更新等の経費増が見込まれるため、なるべく現状維持に努めたい。	円/基	52,880 目標 ( )	52,880	52,880
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<p>市町村型の合併浄化槽は市内でも、当支所管内のみで実施している。当支所管内においては地形、集落等の分布状況から、工事費、維持管理費等で、この方式が最も有効として整備を推進している。現在では普及率が低いため、比較的順調に普及が進んでいるが、今後は対象地域の見直し、浄化槽の敷設困難地の共同化等の検討を行い、より一層の普及率の向上を目指し、合理化に努めなければならない。</p>
---

評価	必要性	4	今後は顧客の開拓という観点で、普及を図り収支構造の安定化を目指さなければならない。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		
				A